

地域共生プラン推進プロジェクトについて

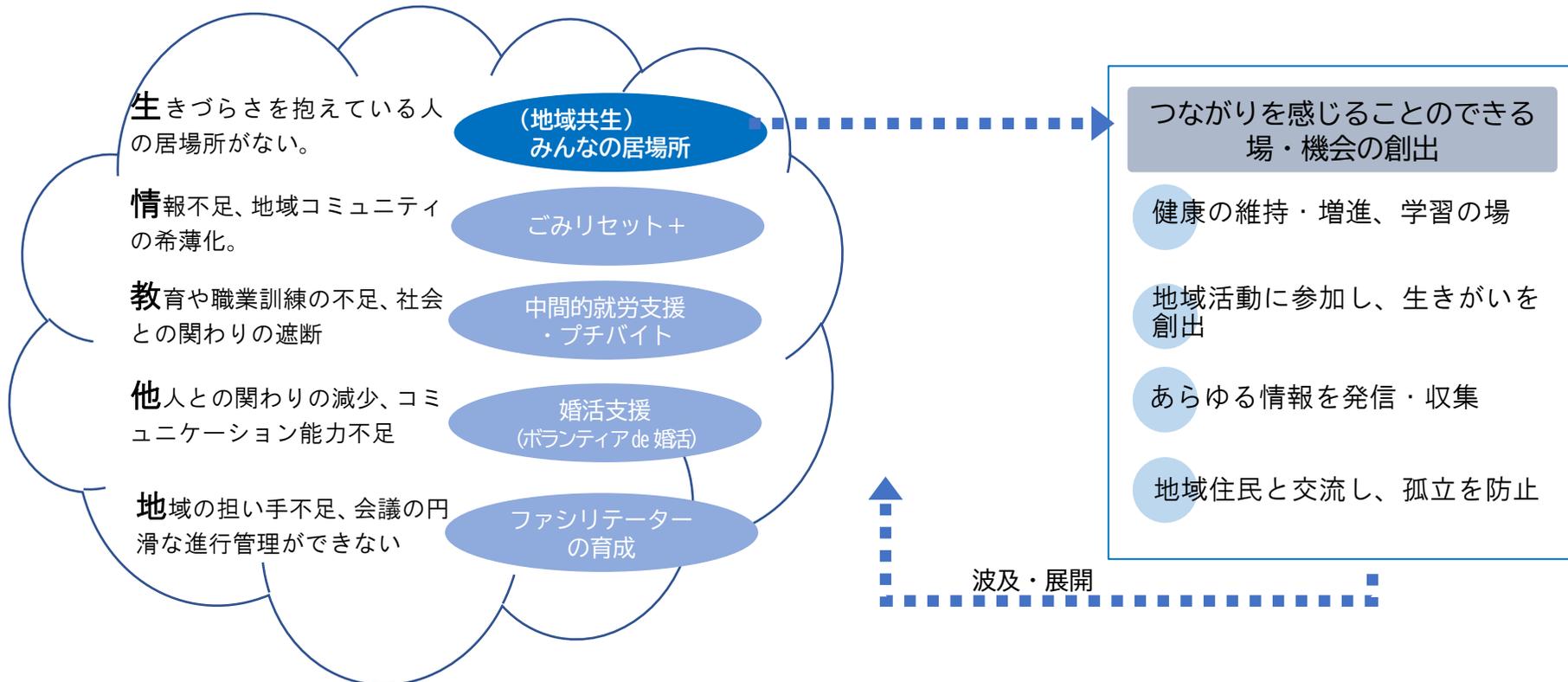
1 趣旨

「誰もが主役 ともに支え合う 安心と温もりのまちづくり」を推進するため、試行的・実験的手法を取り入れたプロジェクトにより、地域の課題の把握や解決に取り組む。実施したプロジェクトのうち、継続的な取り組みが必要なものや成果が期待できる取組の事業化を検討する。

プロジェクトメンバーは、地域共生プランの推進役である市、社会福祉協議会を中心とし、関係団体等の協力を仰ぐ。

2 テーマ

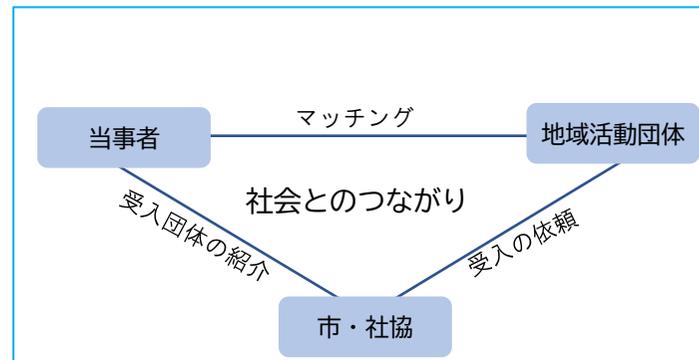
- 市と社会福祉協議会の職員によるミーティングにおいて、5つの取組案を選定。
- まずは、「(地域共生) みんなの居場所」の取組からスタートし、他のテーマの実施に向けた足がかりとする。



「(地域共生) みんなの居場所」について

1 概要

- ひきこもりの相談件数や小中学校の不登校者数が年々増加しており、生きづらさを抱える方（以下「当事者」という。）も多くいる。
- このプロジェクトは、当事者と地域で活動する団体や企業等のマッチングにより、当事者が社会とのつながりを実感し、能動的に外出するきっかけとなる場や機会を創出することを目的とする。
- 地域共生プラン内の重点施策2では、「新たな住民主体の地域の支え合い活動の推進」を掲げており、本施策の具体的取組として進める。



2 メンバー

市：地域福祉課 小野田、稲垣、山田

社会福祉協議会：地域支援課 野寄、基幹相談支援センター 林

※今後、必要に応じてメンバーの増員を検討

3 進捗状況

★現在

ヒアリング	目標の設定	モデル実施	場や機会の創出・拡充
当事者のニーズを把握するため、居場所運営を行う事業者3団体に実施。	既存の地域拠点を活用し、当事者が過ごすことができる居場所の増加をめざす。	地域の活動団体に当事者の受け入れ依頼を行い、活動後に当事者と受入団体へ振り返りを行う。	モデル実施から得た情報を活かし、今後の展開方法を検討。